

令和6年能登半島地震で大きな被害を受けた石川県は、南北に長く半島を有するなど、三重県と地理的条件が類似していることから、被災地の支援活動や調査を通じて得られる気づきを本県の防災・減災対策に活かし、近い将来の発生が危惧されている南海トラフ地震に備えるための取組を強化する。

課題の把握と 県の防災・減災施策の検証

- 新 能登半島地震の被災地の支援活動や調査を通じて得られる気づきも踏まえ、県の防災・減災対策について検証



適切な避難行動の促進

〔課題1〕 短時間で襲来する津波からの避難

- 新 南海トラフ地震被害想定の見直しを実施
- 新 三重県防災アプリを開発して防災気象情報や避難所情報を発信
- 拡 津波避難タワー等の整備を加速



津波避難タワー（志摩市）

〔課題2〕 避難所の環境整備

- 新 指定避難所に停電時でも使用可能な空調設備を整備する市町を支援



命を守り、救助・救援につなぐ環境の整備

〔課題3〕 倒壊により緊急輸送道路を閉塞するおそれがある建築物の耐震化

- 緊急輸送道路の沿道建築物や、昭和56年以前に着工された木造住宅に対する耐震診断、耐震補強設計、耐震工事への支援



〔課題4〕 救助・救援活動を支えるインフラの強靱化

- 緊急輸送道路をはじめとする道路や河川、砂防、海岸などインフラの耐震化、老朽化対策を推進
- 市街地の緊急輸送道路において電線類の地中化など無電柱化を推進

